

連載 宮下宗一郎知事の

青森新時代

Vol.15

「神様、仏様、大黒様」

～スポーツで県民の心を一つに～

2005年2月9日夕刻。私と妻と亡父は、埼玉スタジアムへ。サッカー日本代表戦の観戦。相手は北朝鮮。彼の国とは政治的に緊張関係にあり物々しい警備の中、試合前からさまざまな面で報道も過熱していた。

スタジアムは、ほぼ満員の約6万人。スタジアムを見渡して当時むつ市長だった父が「これくらいがむつ市の人口なのか」と感嘆し、妻が「テレビで見ている人は数百万人ですね」と楽しげに切り返していたのを昨日のことに思い出す。

技術的には日本のワンサイドゲームに近かったが、北朝鮮も負けられない戦い。小笠原選手のフリーキックで日本が先制したものの、後半に一瞬のスキを突かれて追いつかれ、試合は、1対1の同点のまま後半ロスタイムに突入。今日は引き分けかと誰もが感じたその瞬間。

右サイドの浅い位置から小笠原選手のロングクロスがあがった。相手ゴールキーパーがパンチングで正面に跳ね返すとそのセカンドボールが福西選手へ。福西選手がダイレクトでゴール前の大黒選手へ。振り向きざまの一閃。スーパーゴールが生まれた。

言葉にならない歓声と歓喜の渦に6万人のスタジアムが包まれた。私も後席の知らないおじさんと抱き合い、ハイタッチをした記憶がある。おそらくテレビの前の数百万人も

同様だっただろう。オオグロ選手が、ダイコク様(神様)となった。

スポーツには大きな力があると信じている。それは、心を一つにする力だ。スタジアムを後にし、帰路に着く駅までの長い列では、ダイコク、ダイコク、ダイコクとコールが鳴り止まなかった。

いよいよ青の煌めきあおもり国スポ・障スポが開催される。各会場では、そこでしかない瞬間を楽しむことができる。今年は、アメリカで野球のWBC、サッカーのワールドカップ、愛知県で開催のアジア競技大会とスポーツの一年となっている。

締めくくりに国民スポーツ大会。ぜひ会場に足を運び、その瞬間を感じてみてください。

青森県知事 宮下 宗一郎

追伸：写真は父が撮影した結婚半年前の私たち夫婦。スポーツは一瞬が一生涯の思い出になります。



青森県知事の新时代ちゃんねる

「A-Tube」

YouTubeで配信中!

